北のわらしべ

《夏号》令和元年８月15日発行

発行元：社会福祉法人わらしべ会(北海道)
連絡先：〒065-0042
札幌市東区苗穂町３丁目2-35
℡　011-776-7981［法人本部］

衝撃的なニュースに接して

理事長　川本明良

連日の厳しい暑さも北海道では盛りを過ぎはじめました。今年の暑さは特別との声を度々耳にしましたが、秋に向かう季節になると暑さが過ぎてしまったことを寂しく感じます。（札幌苗穂第２事業所）

既に皆さんご存知のことと存じます。7月19日に私たち福祉関係者にとって衝撃的なニュースが伝えられました。支援していた男性ヘルパーが重度障害の方を殴ったり蹴ったりして死なせてしまった容疑で逮捕されたというものです。障害者支援に取り組むという面からも、亡くなった障害男性がかつてわらしべ会の利用者だったという面からも、私たちに身近で衝撃的事件でした。亡くなられた山下茂樹様のご冥福をお祈りします。

大半の福祉事業従事者は、そのような問題を起こすスタッフではありません。人材確保が困難な中、職員選考は難しい状況ですから様々な職員が入職します。その為に職員教育の徹底が必要であるとの意見を耳にします。事業者には虐待防止関連規程整備や職員教育の義務もあります。しかし残念ながら高齢者や障害者が虐待を受けたという報道が後を絶ちません。更にその一部は残念なことに命を落とすという結果になっています。

福祉現場では被介護者と介護者が対等な関係であることが前提です。介護者は被介護者の生活に介入し、利用者の生活成立に多面的に関わります。その為、本来の対等な関係から逸脱して、両者の力のバランスが崩れやすい傾向にあるのかも知れません。なぜ容疑者がこのような事件を起こしたのか？と結論のない疑問も生じます。しかしもし事件を起こすまでに容疑者と向き合う人がいたら、彼が人と向き合える人であれば、状況は変わっていたのではないか？と感じます。事件の前に札幌で児童虐待についての講演を聴きました。そこで最も印象に残ったキーワードが「孤立」という表現です。子どもを死亡させた親も家族も、地域や社会から孤立した存在であることが多いのだそうです。

また、ある全国組織で障害者虐待問題に取り組んできた方のお話を伺った際には、背景として職場内で職員同士の厳しい「対立」が潜んでいる例を度々見かけるとのことでした。高齢者や障害者の支援は現在、契約制度となり「福祉サービス」という考え方が定着しています。契約が始まった当時、福祉の市場経済への転換という事が強調されました。そして現在は制度の枠組みの中でサービスを行うということが一般化しました。しかし人の命や暮らしを支援する活動をサービスとして割り切って考えることに抵抗もあります。また虐待問題や社会情勢を考えると、福祉を市場経済の中で位置づけることが本当に正しかったのかと問いたくなります。人と人の繋がりやふれあいなど「情」や「気持ち」のみで現実の福祉が成り立たないことは理解できますが、これらについて再度、振り返る努力も必要であると感じます。実際、人間同士の繋がりを横に置いて「福祉サービス」という考え方を手放しに受け入れる支援者は少ないように感じます。

「福祉」という活動を見直し、社会や環境、職場や学校等で生じる「孤立」や「対立」と向き合うことで、今回の悲惨な事件や、虐待の問題について考える糸口が見えてくるように思います。そして生き難さを抱えたお互いを支え合う「共生社会」の実現に近づくことができるのかも知れません。

まだまだ暑い日もありそうです。皆様にお見舞い申し上げます。くれぐれもご自愛くださいますようお願い申し上げます。

（グループ　“おん”　琴の音色）

札幌苗穂事業所の５月６日地域食堂開催日、宍戸美樹子先生を中心としたグループ“おん”様により琴の演奏を披露して頂きました。美しい音色が響き渡り、地域食堂に集まって下さった皆様、わらしべ園利用者様、共に聴き入りました。生の琴の音を聞くのは初めての人も多く、子ども達の心にも響く演奏でした。全員が静かにその音色を楽しみました。琴以外に尺八や三味線も加わり「和」の音にふれる機会が少ない中、すばらしい体験となりました。“おん”の皆様ありがとうございました。

大滝だより

大滝わらしべ園
〒052-0313
伊達市大滝区大成町１０
℡　0142-68-6344
FAX 0142-68-6345
Mail　waras@ootaki.tv

誕生会＆コンサート＆小旅行

（王冠を被ってピース）

（写真当てゲーム）

（ピアノを囲んで）

（大迫力の戦車と記念に）

６月 27 日に４月から６月生まれの皆様のお誕生日をお祝いしました。全員でハッピーバースデーの歌を合唱し、お祝いしました。王冠を被った主役（お誕生日を迎えた利用者様）の皆様の得意げな姿が印象的でした。照れて皆から視線をそらす方もいましたが、皆様とても嬉しそうに笑っていました。ゲームとして主役の方と関係の深いものについての写真を当てるというゲームを行いました。たくさんある写真の中から主役の方の好みや様子を考え「これ！」という写真を見付けて正解すると、拍手を送り合って喜んでいました。

７月５日には４月に続いてピアニストの河野康弘様が、施設にご寄贈下さった新しいピアノのお披露目を併せた、コンサートを開催して下さいました。札幌の利用者様数名も参加し、いつも以上に賑わいのある活動になりました。今回のコンサートで、河野様と利用者様との連弾が披露され、参加型コンサートは大いに盛り上がりました。とても素敵な笑顔でピアノを演奏していました。４月のコンサート以来、河野様の御来園を楽しみにしていた利用者様も多くいます。じっくりと聴き入る方、全身で音を感じて楽しむ方、体をゆすって楽しむ方、笑顔で拍手を送る方など各自がそれぞれの楽しみ方をしていました。

大滝わらしべ園の小旅行は利用者様の希望や興味を勘案し、少人数で実施します。新しい計画も準備されており、楽しい企画になるよう職員一同、アイデアと努力で計画をまとめます。

７月 21 日に実施した小旅行では「北恵庭駐屯創立 69 周年記念行事」に行ってきました。本物の戦車による訓練展示をとても間近で見ることができました。空砲の大きな音も迫力満点でしたので、テンションが上がり、はしゃいで声を上げる方もいました。その他に、車両展示や模擬店での食事、音楽演奏など駐屯地の記念行事らしい催しをたくさん見学しました。天候にも恵まれて、この日の小旅行は大成功に終わりました。

今後の予定

いよいよ今年も大滝わらしべ園恒例の道内・道外旅行実施に向けた担当者の話し合いが始まりました。利用者の皆様と一緒に行く地域の選定、そこでの訪問先など資料を集めて検討しています。具体的内容をまとめ、幾つかの旅行プランを企画する予定です。利用者の皆様の喜ぶ姿を想像しながら、可能な限り多くの場所を選定したいと考えています。

（カボチャ栽培 2019）

２年前から始めたカボチャの栽培が３年目を迎えました。昨年は冷夏と天候不順の影響で未熟なままの収穫になり、食べられるカボチャはわずかしか収穫できませんでした。今年こそと、２年間学習してきた内容を基に挑戦したのですが、今年は苗がヒョロヒョロになってしまい、慌てて大滝区の農家橋本様に苗を頂戴したり苗を買いに走ったりして、100 株ほどを追加で植え付けました。今年は気温が高く天気が良いので、苗づくりの失敗が悔やまれます。やり直しのきかない農業の難しさを痛感しています。まずは９月、今年の収穫を待ちます。経験と勉強（失敗と勉強）を繰り返し次年度も挑戦します。

浦河だより

浦河わらしべ園

〒057-0171
浦河郡浦河町西舎 124-1
℡　0146-28-1801
FAX 0146-28-1991
Mail　urakawa-warashibe@deluxe.ocn.ne.jp

BBQ＆わらしべ祭り

天候に恵まれた６月 17 日、中庭にて BBQ を行いました。浦河産の野菜を使ったジンギスカンと野菜炒め、鱒のちゃんちゃん焼き、焼きそばやおにぎりと職員が丹精込めて調理しました。利用者様はいっぱい笑い、そしていっぱい食べ、最後にカラオケ大会で自慢の歌声を披露してくれました。実は当日、中庭は風が少し冷たくて肌寒いという声もありましたが、完全防寒の寒さ対策でモリモリ召し上がってくれました。一番人気は鱒のちゃんちゃん焼きでした。皆様、満面の笑みを浮かべて食べていました。カラオケでは職員とのデュエット、利用者様同士のデュエットがあり、とても楽しいひとときを過ごすことができました。

７月 20 日には利用者の皆様が待ちに待った『わらしべ祭り』！高校生の皆様や看護学生の皆様、民生委員の皆様のご協力のもと、盛大なお祭りを開催することができました。今年も子どもたちによる「向別勇み太鼓」を演奏して下さり、圧巻のステージを披露して頂きました。出店にはクラッシュゼリーのサイダーや冷やし中華、唐揚げやクレープ等美味しいものがいっぱい。今年は新メニューが多く、皆様どれを食べようか悩んでいらっしゃいました。ボランティアの方による昭和の歌謡曲メドレーの演奏、最後は男性職員対抗腕相撲大会にて誰が優勝するのかを予想して声援を送り、飛び入り参加もあり、優勝者と利用者様の試合も行われて、大盛り上がりとなりました。この日はご家族との再会や、開会式での圧巻の太鼓演奏に涙される方もおられ、大成功の行事となりました。

（中庭での BBQ）

（わらしべ祭での出店）

（BBQ でのカラオケ大会）

（圧巻の太鼓演奏）

今後の予定

浦河わらしべ園は７月 27 日から各週土日（浦河町内で３回、隣町の様似町で１回）に行われる地域の夏祭りに参加の予定です。 利用者の皆様に行きたいお祭りの希望を伺い、参加を計画します。夏の楽しいひと時を皆様楽しみしています。また、毎年恒例の秋の特別外出も企画しています。こちらも利用者様に希望を伺い、色々な旅行を計画します。

この人紹介／斉藤清子さん

５月 22 日生まれのふたご座。

趣味はお花を見ること、特技は髪を結ぶことです。 園内中庭のお花や外の花壇を見て回り、お水をあげることが毎日の楽しみです。園外で野花などを見付けたら摘んできて、お部屋に飾って楽しんでいます。 好きな活動は、レクでものを作ることと、いっぱい食べること。手先が器用なので、作品は大変可愛らしい物がたくさんあります。手先の器用さは食事をとる際にも発揮します。お箸を器用に使用し、細かいものまでしっかり召し上がります。

今の希望はお金をいっぱい貯めること。貯めたお金できれいなお洋服を買ったり、旅行に行ったりしたいそうです。 「読んでくれてありがとうございます。私は元気です！」とコメントを頂きました。

札幌わらしべ園 東区事業所

〒065-0042
札幌市東区本町２条６丁目 4-1
℡　011-783-0606（１階）
　　011-790-8130（２階）
FAX 011-790-6572（１・２階共通）
Mail　sawarasibe@cyber.ocn.ne.jp（１階）
　　Whshuurou01@yahoo.co.jp（２階）

ゴミ拾い・プランター＆交流会

（ゴミ拾い）

（大学生の皆様と記念撮影）

（大学での食事）

（水やり）

東区事業所１階では、地域貢献活動として地域のゴミ拾いを行っています。利用者様は職員と一緒に事業所周辺を歩いて、丁寧にゴミ拾いをして下さいました。また「プランター企画」として、お花を育てる活動に取り組んでいます。利用者様が日替わりで水やりをしてくれたおかげできれいな花がたくさん咲き、大喜びでした。

今年も札幌学院大学の学生の皆様との交流会を行いました。第１回は事業所に来て頂き、利用者様についてのお話をしました。利用者様は初めてお会いする学生の皆様に、最初は緊張していましたが、時間が経つにつれて徐々に緊張が解けていきました。皆様積極的に自己紹介をしてくれました。第２回は札幌学院大学の学校祭にお邪魔させて頂きました。学生の皆様とご飯を食べたり、ライブを見たり、車椅子を押して頂き、学内探索を楽しみました。

温泉旅行

東区事業所２階の利用者様は６月 20 日 21 日に１泊２日の層雲峡への温泉旅行に行ってきました。20 日の朝、いつも通り事業所に集合し、車２台に分乗して出発です。最初に向かったのは旭山動物園でした。園内のレストランでボリューム満点のオリジナルプレートランチの昼食でした。皆様お腹いっぱいで大満足。とても暑い日でしたが動物園内を楽しく散策し、たくさんの動物を見て大喜びでした。その後はホテルへ移動しました。立派なお風呂と夕食は豪華なコースメニューを堪能しました。２日目は美瑛～富良野のドライブでした。富良野で２日目も美味しい昼食を食べた後、皆様が楽しみにしていたアンパンマンショップまで足をのばしました。思い思いのお土産を購入し、札幌に到着したのは 17 時過ぎになりました。天候に恵まれ、美味しい食事をお腹いっぱい食べ、大満足の１泊２日を思う存分楽しむことが出来ました。

（豪華な食事に舌鼓）

（旭山動物園にて）

（アンパンマンと）

（畑作業が始まりました）

今後の予定

８月に夏のお食事会を開催予定です。保護者の皆様にも参加していただく行事です。利用者の皆様もとても楽しみにしている行事の一つです。
札幌学院大学の学生の皆様との交流会を年内に、再度行う予定です。（日程未定）
２階の利用者様は夏のお食事会に向けて、展示作品の作成、外注の作業、報告を兼ねた写真展示の準備、作成を行います。また、９月 25 日、26 日に行われる「カラフルブレインアートフェス」という行事に作品を出展に向けて各自作品の作成中です。

職　員　紹　介

氏　名：川原（かわはら）　恵輝（しげき）
出身地：芽室町
趣　味：映画鑑賞
特　技：何があっても落ちない食欲と、どこでも眠れる事
24 年目　生活支援員

平成８年、バブル崩壊後の就職難の時期に縁あって、わらしべ会で働かせて頂くことになりました。多くの失敗を繰り返しながらも今日まで在職させて頂いていることに感謝しています。私が 20 年以上わらしべ会で働いてきたのは、この会の「利用する方を中心に」という理念に惹かれているからです。 これまで障害関連の環境や状況変化の為に、不本意ながら制度上変更せざるを得ない事もたくさんありました。しかしわらしべ会がこの理念を一貫して持ち続けていたこと、そのことが仕事を続けることができた最大の動機付けです。これからは私たちがそれを体現していくことが使命となります。そのために努力していくつもりです。未熟な私ですがこれからもどうかよろしくお願いいたします。

札幌わらしべ園
厚別・苗穂事業所

厚別事業所
〒004-0062
札幌市厚別区厚別西２条２丁目 1-23
℡　011-376-0106
FAX 011-376-0140
Mail sawarasibe@cotton.ocn.ne.jp

苗穂事業所
〒065-0043
札幌市東区苗穂町３丁目 2-35
℡　011-776-7981
FAX 011-776-7982
Mail　naebojimu@hotmail.com

作物収穫と梅しごと

厚別事業所では、春に植えた作物の水やりや周辺の草刈りを利用者の皆様と行っています。既に無事に大きく成長した作物を収穫しました。調理で韓国風味噌汁やナムル、ピクルスにして皆様で一緒に食べました。丹精込めて作った野菜は美味しさもひとしおです。皆様喜んで召し上がっていました。大量に採れたきゅうりやズッキーニは事業所の調理で味わうだけでなく、利用者の皆様に持ち帰って頂きました。

事業所横には梅の木があります。今年もたくさんの梅が生りました。利用者様と職員総出で梅の収穫を行いました。枝を揺らして落ちた梅が体に当たり「痛い、痛い！」と言いながら頑張って収穫しました。梅の汚れ落としや乾燥作業を行ってから、ジャムやシロップを作りました。作ったジャムはサイダーに混ぜて飲んだり、のし梅を作ったり。シロップはかき氷にかけたりゼリーにしたりと、余すことなく楽しみました。シロップはおすそ分けするほどの出来栄えでした。

（大物 GET！）

（シロップは順調です）

（韓国風味噌汁を実食）

（のし梅は大人の味）

外出活動

（歴史を感じる建物）

（ビールをグイッ！）

（いい日よりでした）

（ビールの樽と記念撮影）

苗穂事業所の皆様は６月 29 日に外出「サッポロビール園」に出かけました。当日の午前中には事業所で事前学習をしました。サッポロビールの歴史やいろんな情報を学習して、知識を持って外出をむかえました。利用者様には外出にあたり３つの課題が設定されました。①「集合写真を撮ろう」②「マークを探そう」③「ポスターを選ぼう」です。その他、外出時のマナーについても「集団行動」「周囲の方への気遣い」「注意すること」等も事前に確認しました。皆様、午前中から外出気分が大いに盛り上がっていました。

サッポロビール園に到着後はマナー学習で確認したことに注意しながら、設定された３つの課題に挑戦しました。全員協力して課題に取り組みながらビールの歴史を学びました。「ポスターを選ぼう」のミッションでは、好きな女優さんや俳優さんを各自が見つけて、名前を当てながら記念撮影を楽しむことができました。事前学習から外出、外出の振り返りと、とても充実した１日になりました。

（みんなのタッピー体操教室 in わらしべ園 開催のお知らせ）

札幌市東区介護予防センターなえぼ様主催の「みんなのタッピー体操教室 in わらしべ園」が始まりました。体操を通じて筋力の老化防止や筋力維持の効果があるそうです。場所は札幌わらしべ園苗穂第２事業所２階です。どなたでも参加できますので、札幌わらしべ園苗穂事業所のお近くの方は、タオル、飲み物持参、動きやすい服装で是非お集まり下さい。この教室には札幌わらしべ園職員（作業療法士）も参加予定です。

開催日 8 月 8・22・29 日／9 月 5・12・19 日
時間 10 時～12 時

街かどスペース「あごら」わらしべ便り

５月、６月、７月はそれぞれ「ドリームキャッチャー作り」「せっけん作り」「ミニファブリック作り」を行いました。ドリームキャッチャーはアメリカ先住民のお守りとして最近日本でもブームの装飾品です。思い思いの毛糸を輪っかに巻き付け、ビーズやリボンでオリジナルの装飾を作りました。せっけん作りはいつも食事準備などのボランティアスタッフを務めてくれる地域の方も参加して下さり、ラメやビーズ等を沈めてそれぞれ綺麗なせっけんを作りました。ミニファブリック作りはたくさんの皆様にお越し頂き大盛況。それぞれ色々な形と色、 装飾でオリジナリティ溢れる作品を作られました。

地域食堂予定

9／7

10/14

クローズアップこの活動

～芸術活動～

厚別事業所では積極的に芸術活動に取り組んでいます。ペンや色鉛筆を使ったアートはもちろん、デジタルアートや点描、貼り絵など新たな芸術活動に挑戦しています。各利用者様の特性に合った色塗りやハサミを使って作った作品を組み合わせて季節ごとに大きな作品を作り、事業所内に展示しています。６月は雨をテーマに作品を作りました。紙を絵の具やカラーペンで着色し、雨粒や紫陽花の花、傘の形に切り取ります。それらを合わせて１つの大きな作品にしました。完成した作品を皆様で鑑賞しながら、達成感を分かち合うことができました。また、芸術活動の向上のために芸術活動に特化した他事業所様の見学に行きました。利用者様はとても刺激になったようです。その後の創作活動に変化が見られます。職員にとっては大変勉強になることばかりで、今後の活動をつくるにあたって参考にさせて頂きたいと話し合っています。まだスタートしたばかりですが、日々の進歩を目指しています。

通信　グループホーム　シェアハウス

グループホーム

６月の晴れた休日、本町と苗穂の利用者様が一緒に牧場に行きました。牧場で羊やヤギ、犬やアルパカ等とふれあいました。普段さわることのできない動物とふれあうことができ、貴重な体験に皆様大喜びでした。

シェアハウス

休日に発寒イオンに行きました。昼食はレストランでカレーライスを食べました。皆でテーブルを囲み、夢中で召し上がっていました。食事の後は、ご自身の欲しいものを見て回りました。店内でカートや一緒に行った利用者様の車椅子を押してくれた方もいて、皆で楽しい外出になりました。

役　員　紹　介

令和元年６月10日開催評議員会・理事会に於いて新役員が選任されました。
どうぞよろしくお願いいたします。

理　事（6名）		
	氏　名	任　期
理事長	川本　明良	令和元年6月10日～令和3年6月
理　事	浅井　伊知人	令和元年6月10日～令和3年6月
理　事	猪尾　紀幸	令和元年6月10日～令和3年6月
理　事	今井　亨	令和元年6月10日～令和3年6月
理　事	上中　正人	令和元年6月10日～令和3年6月
理　事	平岡　理恵	令和元年6月10日～令和3年6月

監　事（2名）		
	氏　名	任　期
監　事	吉川　滋政	令和元年6月10日～令和3年6月
監　事	志斉　哲雄	令和元年6月10日～令和3年6月

評　議　員（7名）		
	氏　名	任　期
評議員	加藤　孝	平成29年4月1日～令和3年6月
評議員	谷口　貢	平成29年4月1日～令和3年6月
評議員	山本　一哉	平成29年4月1日～令和3年6月
評議員	内藤　律子	平成29年4月1日～令和3年6月
評議員	高岸　節雄	平成29年4月1日～令和3年6月
評議員	酒井　進	平成29年4月1日～令和3年6月
評議員	山本　亮	平成29年4月1日～令和3年6月

・理事、監事、評議員ともに敬称略とさせて頂きました。
・評議員の任期は平成29年4月1日～令和3年6月です。

平成 30 年度 社会福祉法人わらしべ会 事業報告

1）全体総括

(社会福祉法人を取り巻く環境)

人口減少と高齢化を問題とする意見が顕著になり「2025 年問題」や「2040 年問題」と呼ばれる私たちの課題について論議される機会が増えました。この問題に社会構造の変化が求められています。私たちがこの高齢化問題について考える時、「サービスや支援の対象」として考える視点と「地域共生社会実現」に向けた活動の一環としての高齢者支援という 2 つの視点が必要になります。高齢化社会の担い手として障がい者支援など他領域の法人も積極的に介護保険サービスなどに参加することが求められるようになってきたと感じます。

また社会福祉法人制度改革以降、社会の幅広い問題や課題と向き合うことが社会福祉法人の使命と考えられるようになりました。社会福祉法人は使命として、公的福祉事業の枠組みを超えて地域での活動に取り組むことが必要です。私たち社会福祉法人は地域共生社会ついて真摯に検討し、様々な「生きづらさ」を抱える生活困窮者の課題に主体的に取り組むことが求められるようになっているといえます。

(平成 30 年度の特徴的課題)

人口減少社会の現実として社会全体に労働力不足が顕著になっています。 平成 30 年度はこれまで以上に福祉分野の人材不足が顕著になりました。多くの法人で「人材の確保と育成」を喫緊の課題と考えるようになっています。また福祉労働者不足の対応として、全国の社会福祉法人でも外国人労働者の採用が広がり始めました。

また平成 30 年度の大きな出来事として豪雨や大規模地震などの大災害発生が特徴的でした。北海道では 9 月に胆振東部地震が発生し、大規模停電発生ほか福祉関連施設は非常時対応におわれました。これを境に平時から災害など緊急時の準備や対策整備が急がれるようになりました。災害備蓄などの準備も各法人で進められるようになりました。

(障がいのある人の支援)

社会の高齢化と同じく、近年、障がいのある人の高齢化も課題となっています。障がいサービスと介護保険サービスを併設する「共生型サービス」があります。多くの事業所が高齢化する障がい利用者支援の一つの手段として、この導入を検討しています。

障害者権利条約や障害者差別解消法等により、障がいのある人の権利や暮らしの保障が公的に保障されるようになりました。しかし合理的配慮による物理的なバリアフリーが進みはじめた一方で、障がい者に対する理解や、障がいのある人を内包する地域社会という考え方が広がっているとは言えません。事業者にはこの問題への対応が求められています。

障害者総合支援法改正法が施行されました。地域包括ケアの実現に向けて、1, 障害のある人が望む地域生活の為の支援、2, 障害児への多様なニーズ対応、3, サービスの質向上に向けた整備を柱に単価改正や新サービスなどが示されました。障がいのある人の「住み慣れた地域での生活」を目指し、障がい者分野でも「地域共生社会」が論議されるようになりました。

(わらしべ会 法人運営)

平成 29 年度に新制度に基づき就任した役員、評議員会による組織・体制による法人運営を継続しました。平成 30 年度は事業所や事業所用地購入など複数の契約があり、重要な審議事項として理事会・評議員会を開催し、これらの契約について慎重に審議しました。

次年度以降の中期事業計画の策定に努めました。継続、改編、新規開設の他、地域の居場所づくり、人材の確保、事務機能の集約などの計画を立案しました。

２）法人内活動総括

（コンダウティブ教育／ペトゥ法）

具体的取り組みとして札幌わらしべ園で「高次脳機能障害利用者」支援をその特化した活動として取り組んでいます。新しい支援対象として「パーキンソン病」活動グループの組織を目指しましたが、組織するには至りませんでした。４月にはセンメルワイス大学から講師を招聘し、パーキンソン病支援を中心にコンダクティブ教育勉強会を行いました。

（農福・地方―都市部の取り組み）

昨年に続き大滝わらしべ園の畑を活用してカボチャの栽培に取り組みました。農業普及センター専門家の支援・協力により栽培に取り組みましたが、天候の影響により未熟の収穫となりました。計画した加工や販売など収穫物を活用した取り組みには至りませんでした。

（施設・事業所毎の地域づくり参加）

大滝・浦河・札幌の地域が長期的な視点で「地域共生社会の実現」に向けて地域との交流を図り関係強化や各地域が求めているあり方を検討しました。

３）平成 30 年度契約

１；札幌わらしべ園　東区事業所　従たる事業所購入契約

２；札幌わらしべ園グループホーム東苗穂ホーム　建設用地　契約

４）新規事業所（従たる事業所）

１；札幌わらしべ園　苗穂事業所（札幌厚別事業所従たる事業所）

２；札幌わらしべ園　第２苗穂事業所（札幌東区事業所　従たる事業所）

５）法人活動／理事会・評議員会・監事監査・法人運営監査ほか

月　日	実 施 活 動	場　所	主な内容・その他
4月21日	理事会・評議員会	苗穂事業所	新規苗穂第2事業所契約関連
4月21日	開　所　式	苗穂事業所	開所祝い
5月23日	監事監査	大滝・浦河	事業報告・決算報告　他
5月25日	理 事 会	大滝わらしべ園	事業報告・決算報告・土地建物購入
6月10日	評議員会	浦河わらしべ園	事業報告・決算報告・土地建物購入
8月31日	監事監査	大滝・浦河	運営・会計-経理関連・利用者支援
9月11日	理 事 会	苗穂事業所	補正予算案　法人5か年計画
9月20日	指導監査	法人本部	札幌市監査指導室/障がい保健福祉部
12月1日	理 事 会	苗穂事業所	5か年計画　事業所購入 GH用地購入
12月15日	評議員会	苗穂事業所	5か年計画　事業所購入 GH用地購入
12月26日	監事監査	大滝・浦河	前期収支関連・会計処理・利用者支援
2月28日	監事監査	大滝・浦河	31年度計画・予算案・補正予算
3月8日	理 事 会	大滝わらしべ園	31年度計画・予算案・土地・建物購入
3月30日	評議員会	浦河わらしべ園	31年度計画・予算案・土地・建物購入

わらしべ会だより／会計報告

第３号第１様式

法人単位貸借対照表

平成31年 3月31日 現在

社会福祉法人　わらしべ会

（単位：円）

資産の部	当年度末	前年度末	増　減	負債の部	当年度末	前年度末	増　減
【流動資産】	509,850,886	732,149,600	−222,298,714	【流動負債】	35,676,127	277,922,262	−242,246,135
現金預金	414,373,653	367,736,735	46,636,918	事業未払金	27,176,127	270,522,262	−243,346,135
事業未収金	95,477,233	361,180,328	−265,703,095	その他の未払金			
未収金				1年以内返済予定設備資金借入金			
未収補助金				1年以内返済予定リース債務			
未収収益				未払費用			
貯蔵品				預り金			
立替金		3,232,537	−3,232,537	職員預り金			
前払金				仮受金			
前払費用				賞与引当金	8,500,000	7,400,000	1,100,000
仮払金				その他の流動負債			
その他の流動資産							
徴収不能引当金							
【固定資産】	1,124,849,274	1,091,090,770	33,758,504	【固定負債】	56,704,349	30,879,320	25,825,029
（基本財産）	533,608,996	564,874,246	−31,265,250	設備資金借入金			
土　地	24,490,422	24,490,422		リース債務	16,008,344		16,008,344
建　物	509,118,574	540,383,824	−31,265,250	退職給付引当金	40,696,005	30,879,320	9,816,685
（その他固定資産）	591,240,278	526,216,524	65,023,754	その他の固定負債			
土　地	151,112,497	116,588,497	34,524,000	負債の部合計	92,380,476	308,801,582	−216,421,106
建　物	253,956,233	221,684,853	32,271,380	純資産の部			
構築物	500,623	1,030,524	−529,901	【基本金】	773,230,057	773,230,057	
機械及び装置	1,108,350		1,108,350	【国庫補助金等特別積立金】	59,498,927	66,494,609	−6,995,682
車輌運搬具	8,197,863	8,493,700	−295,837	【その他の積立金】	115,461,451	143,661,451	−28,200,000
器具及び備品	4,444,628	3,878,179	566,449	人件費積立金	63,000,000	63,000,000	
有形リース資産	15,762,628		15,762,628	修繕積立金	43,921,451	43,921,451	
ソフトウェア				備品等購入積立金	7,000,000	7,000,000	
退職給付引当資産	40,696,005	30,879,320	9,816,685	移行時特別積立金		25,200,000	−25,200,000
人件費積立資産	63,000,000	63,000,000		その他の積立金	1,540,000	4,540,000	−3,000,000
修繕費積立資産	43,921,451	43,921,451		【次期繰越活動増減差額】	594,129,249	531,052,671	63,076,578
備品等購入積立資産	7,000,000	7,000,000		（うち当期活動増減差額）	34,832,618	29,433,461	5,399,157
移行時特別積立資産		25,200,000	−25,200,000				
その他の積立資産	1,540,000	4,540,000	−3,000,000				
差入保証金							
その他の固定資産							
				純資産の部合計	1,542,319,684	1,514,438,788	27,880,896
資産の部合計	1,634,700,160	1,823,240,370	−188,540,210	負債及び純資産の部合計	1,634,700,160	1,823,240,370	−188,540,210

第１号第１様式

法人単位資金収支計算書

自 平成30年 4月 1日　至 平成31年 3月31日

社会福祉法人　わらしべ会

（単位：円）

勘定科目			予　算	決　算	差　異	備　考
事業活動による収支	収入	障害福祉サービス等事業収入	571,700,000	572,183,119	−483,119	
		その他の事業収入	2,505,000	2,855,920	−350,920	
		経常経費寄附金収入	230,000	315,000	−85,000	
		その他の収入	3,015,000	3,535,435	−520,435	
		事業活動収入計(1)	577,450,000	578,889,474	−1,439,474	
	支出	人件費支出	309,530,000	302,844,364	6,685,636	
		事業費支出	98,210,000	94,992,024	3,217,976	
		事務費支出	99,617,000	92,966,556	6,650,444	
		事業活動支出計(2)	507,357,000	490,802,944	16,554,056	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)−(2)		70,093,000	88,086,530	−17,993,530	
施設整備等による収支	収入	施設整備等収入計(4)				
	支出	固定資産取得支出	84,110,000	83,864,632	245,368	
		施設整備等支出計(5)	85,720,000	85,466,384	253,616	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)−(5)		−85,720,000	−85,466,384	−253,616	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	29,740,000	29,717,900	22,100	
		その他の活動収入計(7)	29,740,000	29,717,900	22,100	
	支出	積立資産支出	7,000,000	11,334,585	−4,334,585	
		その他の活動支出計(8)	7,000,000	11,334,585	−4,334,585	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)−(8)		22,740,000	18,383,315	4,356,685	
予備費支出(10)			39,668,000 −21,355,000		18,313,000	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)−(10)			−11,200,000	21,003,461	−32,203,461	

前期末支払資金残高(12)	83,200,000	461,671,298	−378,471,298
当期末支払資金残高(11)+(12)	72,000,000	482,674,759	−410,674,759

第２号第１様式

法人単位事業活動計算書

自 平成30年 4月 1日　至 平成31年 3月31日

社会福祉法人　わらしべ会

（単位：円）

勘定科目			本年度決算	前年度決算	増　減
サービス活動増減の部	収益	障害福祉サービス等事業収益	572,183,119	582,255,324	−10,072,205
		その他の事業収益	2,855,920	109,740	2,746,180
		経常経費寄附金収益	315,000	385,000	−70,000
		サービス活動収益計(1)	575,354,039	582,750,064	−7,396,025
	費用	人件費	313,761,049	307,673,886	6,087,163
		事業費	94,992,024	95,762,288	−770,264
		事務費	92,966,556	111,664,434	−18,697,878
		減価償却費	49,332,899	53,154,078	−3,821,179
		国庫補助金等特別積立金取崩額	−6,995,682	−6,995,682	
		サービス活動費用計(2)	544,056,846	561,259,004	−17,202,158
	サービス活動増減差額(3)=(1)−(2)		31,297,193	21,491,060	9,806,133
サービス活動外増減の部	収益	その他のサービス活動外収益	3,535,435	1,469,061	2,066,374
		サービス活動外収益計(4)	3,535,435	1,469,061	2,066,374
	費用	サービス活動外費用計(5)			
	サービス活動外増減差額(6)=(4)−(5)		3,535,435	1,469,061	2,066,374
経常増減差額(7)=(3)+(6)			34,832,628	22,960,121	11,872,507
特別増減の部	収益	その他の特別収益		7,289,737	−7,289,737
		特別収益計(8)		7,289,737	−7,289,737
	費用	固定資産売却損・処分損	10	816,397	−816,387
		特別費用計(9)	10	816,397	−816,387
	特別増減差額(10)=(8)−(9)		−10	6,473,340	−6,473,350
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)			34,832,618	29,433,461	5,399,157
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		531,096,631	496,619,210	34,477,421
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		565,929,249	526,052,671	39,876,578
	その他の積立金取崩額(15)		28,200,000	10,000,000	18,200,000
	その他の積立金積立額(16)			5,000,000	−5,000,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)−(16)		594,129,249	531,052,671	63,076,578

お　知　ら　せ

❀　ありがとうございました　❀

順不同にてご紹介

ご寄贈頂きました。

食愛カフェ Mina＊Hana～皆花～吉田　未奈　様　　河野　康弘　様
難波　フミノ　様　　橋本　強　様　　畠山　重信　様
磯野牧場　様　　田村　靖代　様　　志田　敏江　様
工藤　久美子　様　　近藤　寿美子　様　　女池　好子　様
平崎　京子　様　　高橋　京子　様　　鈴木　佳子　様

皆様の温かいご支援に感謝申し上げます。

地域食堂の開催時に多くの地域の皆様にボランティアスタッフとしてご支援いただきました。

みんなのタッピー体操教室のお知らせは５ページをご覧下さい。

＊行事予定表＊

	大　滝		浦　河		札　幌・法　人	
8月	11 日(日)	小旅行	3、4 日(土、日)	様似町アポイの火まつり	2, 9, 16 日(金)	地域食堂・イベント(苗穂事業所)
	27 日(火)	小旅行	10、11 日(土、日)	浦河町港まつり	3 日(土)	夏の集会(東区事業所)
	未定	自治会夏祭り	17 日(土)	西舎神社盆踊り	8, 22, 29 日(木)	介護予防センター体操(苗穂事業所)
9月	未定	道内旅行	各週	秋の特別外出	5, 12, 19 日(木)	介護予防センター体操(苗穂事業所)
					7 日(土)	地域食堂・イベント(苗穂事業所)
			30 日(月)	秋の交通安全街頭啓発	18 日(水)	法人監査(法人)
					28 日(土)	一般競争入札理事会　(法人)
10月	5 日～7 日いずれか	小旅行	各週	秋の特別外出	14 日(月)	地域食堂・イベント(苗穂事業所)
	未定	自治会チーズフォンデュ会	1 日(火)	開園記念日		

ボランティアスタッフ募集

札幌わらしべ園苗穂事業所のフリースペース「あごら」わらしべでは毎月１回、地域の皆様の参加を募り、地域食堂を開催しています。一緒にこのイベントを支えて下さるボランティアスタッフを募集しています。地域食堂の日 10：00 にお越し頂き、調理や子どもたちの見守りのお手伝いをお願いします。

（9 月 7 日土曜日　開催 10:30 /10 月 14 日月曜日　いずれも 10：30 開始）

住所：札幌市東区苗穂町 3 丁目 2-35 札幌わらしべ園 苗穂事業所（旧氏家医院となり）

電話番号：011-776-7981（担当：廣瀬）　最寄り駅：JR「苗穂駅」より徒歩 15 分

※食事をされる方は大人 200 円、子ども 100 円を頂いています。

編集後記

北海道にも短い夏がやってまいりました。暑い日が続いていますが皆様いかがお過ごしでしょうか？ひまわりなど夏の花が咲き、街が鮮やかな色どりに満ちています。利用者様も花を見て楽しそうです。暑い中、かき氷を食べたり、外で水遊びをするなど暑さをしのぎなら、短い夏を楽しんでいます。とはいえ、北海道は暑さの盛りを過ぎ、夜は涼しい北海道らしい気候になってきました。９月を前に昨年の台風、地震、大規模停電を思い出します。今年も台風が多いようです。また残暑が予想される地域や、気温の変化が激しい地域もあるようです。皆様、ご自愛下さいますようお願い申し上げます。今後とも宜しくお願い致します。

編集職員一同